

マーケットの動き（2021年11月1日～11月5日）

先週の為替市場は、米ドルは対円で下落（円高）しました。FOMC（米国連邦公開市場委員会）で量的緩和縮小が決定したものの、FOMC後のパウエル議長の発言により利上げ早期化観測が和らいだことから、日米金利差の縮小を意識した円買いが優勢となりました。ユーロは、対円、対米ドルともに下落しました。

投資環境見通し（2021年11月）

円に対して、米ドル、ユーロともに一進一退で推移

米ドル：米国において、企業活動は緩やかな拡大方向にあるとみられ、部材供給制約については次第に解消に向かい、経済活動正常化が進むとみられます。FRB（米国連邦準備制度理事会）による金融政策正常化に向けた動きが意識されますが、当面の利上げ見通しについてはすでに長期金利に織り込まれたとみられ、米ドルは円に対して一進一退で推移するとみています。

ユーロ：ユーロ圏の企業活動は依然として高水準を維持していますが、エネルギー価格上昇を受けて緩やかな拡大にとどまるとみています。ECB（欧州中央銀行）が当面は緩和的な金融政策を続けるとみられることから、ユーロは円に対して当面は一進一退で推移するとみています。

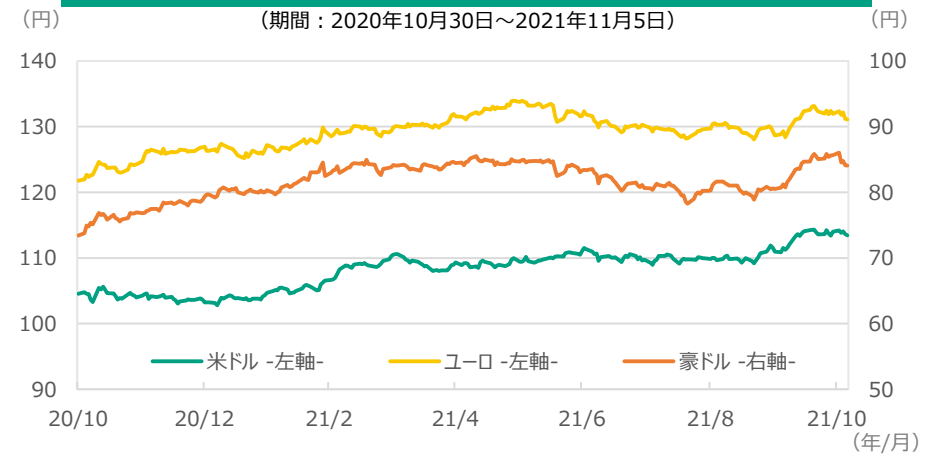
	11月5日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	113.46	▲0.57	1.92	4.24	9.80
ユーロ/円	131.10	▲0.86	1.79	▲0.02	8.51

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

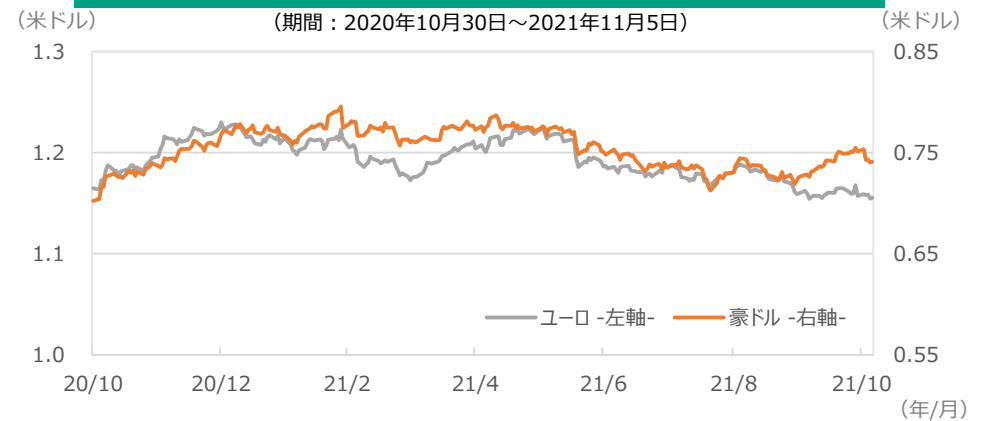
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202111_outlook.pdf

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>